

科目名 看護リフレクションⅢ	授業担当者 渡部 暢子 他	所属 中通高等看護学院	
開講時期 :前期～中期	単位数 :1 単位	時間数 :30 時間	
授業の目的 臨地実習の場面を通して、看護実践状況の中で生じた、実践知を自覚し、リフレクティブサイクルに応じ、客観的に振り返る思考のプロセスを学ぶ。			
授業の概要 看護におけるリフレクションは、日々の看護実践の中で行われる暗黙知や技を可視化・言語化するプロセスである。リフレクションを学ぶことは、看護実践の質を向上させ、看護専門職として成長し続けていくための有用なスキルである。本科目は、2年次に学んだスキルを活用し、臨地実習の場면을リフレクションする。実習終了後に自らの経験を価値化することで、省察する力を高めることができる。ナラティブからリフレクティブな思考や多様性の理解も深めることができる。			
受講上の注意・事前学習の内容 実習ポートフォリオファイルと1年次から使用しているリフレクションノートを持参して臨む。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1・2	看護リフレクションⅢとは	講義・演習	渡部
3～14 回目までは、成人・老年Ⅲ、小児、母性、地域・在宅、精神、統合の6つの実習科目で2回ずつ行う。			
例)3・4	成人・老年看護学実習Ⅲの場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
5・6	小児看護学実習の場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
7・8	母性看護学実習の場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
9・10	地域・在宅看護論実習の場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
11・12	精神看護学実習の場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
13・14	看護の統合と実践実習の場面のリフレクション	個人・グループワーク	実習担当教員
15	看護の統合と実践実習のリフレクション (再構成したグループで交流)	個人・グループワーク	実習担当教員
テキスト 田村由美/池田悦子著 看護の教育・実践にいかすリフレクション ―豊かな看護を拓く鍵― 南江堂			
参考書・指定図書 看護のためのリフレクションスキルトレーニング 看護の科学社 「シミュレーション教育の効果を高める」ファシリテーターSkills&Tips 医学書院			
評価の方法 各実習場面でリフレクションノート提出、リフレクションアセスメント指標を用いた評価 レポート			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります